

第 120 回サイエンス・カフェ札幌 | オンライン

「コキコウガクシャの事件簿 ～未来の地球のヒントは過去にあり～」を開催

【概要】

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）は、同大学低温科学研究所の関 宰（せきおさむ）准教授をゲストに招き、過去の地球の気候を復元する古気候学の視点から、これからの地球温暖化に伴う気候変動に関して語り合うサイエンス・カフェを推理仕立てで実施します。

【趣旨】

今年 8 月に気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が第 6 次評価報告書第 1 作業部会報告書を発表し、大きな話題となりました。これからの私たちの暮らし方に直結する地球温暖化、それに伴う気候変動の進み方は、研究者だけでなく様々な人の関心事であるといえるでしょう。今回のゲストである関准教授は、この謎に対して過去の気候を復元する手法からアプローチしています。

地球の長い歴史の中では間氷期と氷期が幾度となく繰り返されてきました。関准教授はおよそ 300 万年前の、現在よりもわずかに温暖だった気候の復元に取り組んでいます。このような温暖だった時代の地球の気候や環境を知ることが、これから起こる温暖化の進み方を予想する上で重要だと考えられています。

しかし、当時の気候についてはようやく輪郭がぼんやりと浮かんできた段階です。そこで関准教授は、海底の堆積物中に含まれている当時の生物の痕跡などの化学的分析から、気温や水温の変化を推定することで、より解像度の高い復元を目指しています。古気候学と呼ばれるこの分野の研究には推理のような面白さがあると関准教授はいいます。まるで探偵のように、研究者が海底や氷に眠る過去からの手がかりを集め、その時代の気候を復元していくのです。

関准教授には、まさに今解き明かそうとしている温暖だった時代の気候変動、そして、これからの温暖化の進み方の「ある懸念」についてお話いただきます。現在多くの研究者が予想するように、地球温暖化は単調に進行していくのでしょうか。それとも……？

地球から届いた温暖化の予告状。そしてそれに挑む名探偵・関准教授。推理小説仕立てのサイエンス・カフェをぜひお楽しみください。

【日 程】 2021 年 10 月 8 日（金）18 時 30 分～19 時 30 分

【場 所】 オンライン配信

【ゲ ス ト】 関 宰（北海道大学低温科学研究所 准教授）

【聞 き 手】 北海道大学 CoSTEP 対話の場の創造実習受講生

【主 催】 北海道大学 高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター
科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

【対 象】 一般市民（内容としては高校生以上を想定）

【募集人数】 人数制限なし

【参加費】 無料

【言語】 日本語のみ

【申込方法】 申込不要。以下のページ上で参加用のアドレスをお知らせします。
<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/19403>

お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター

科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 博士研究員 梶井宏樹 (かじいひろき)

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール h-kajii@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp